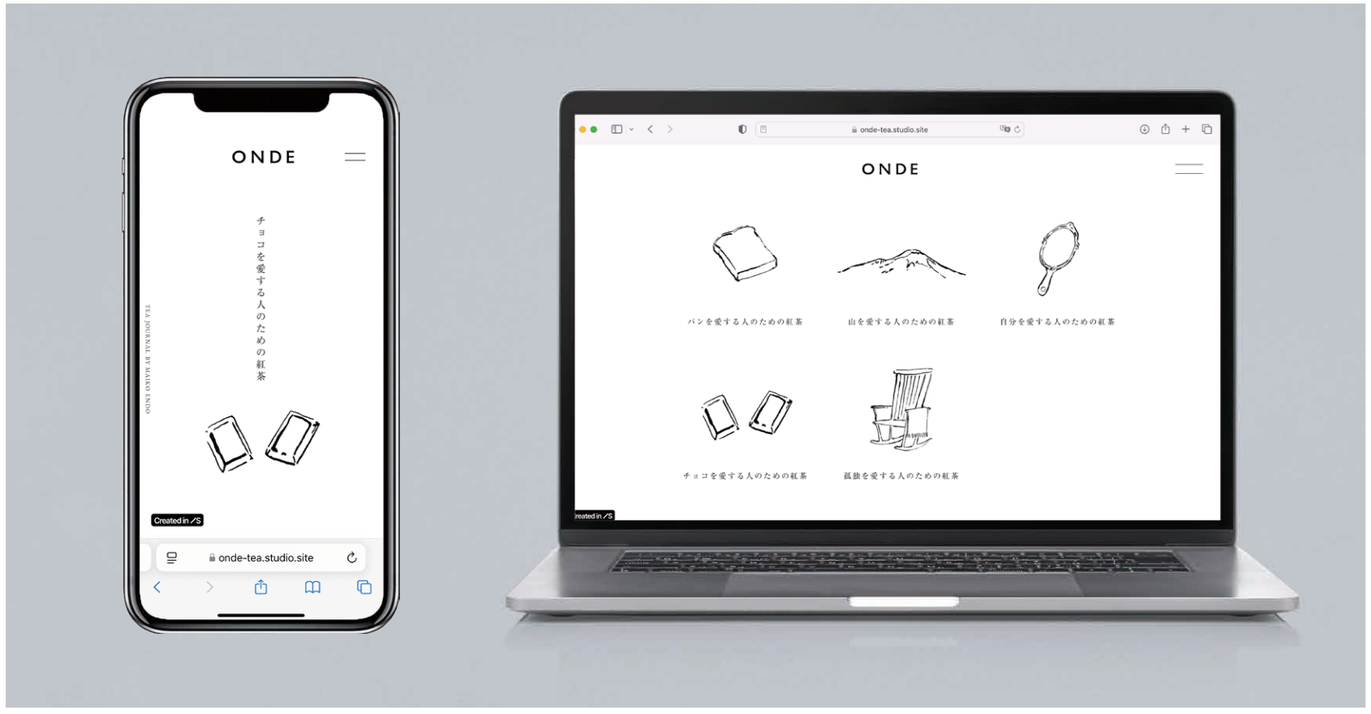
その紅茶には物語がありました。

「77億人に、77億通りのブレンドを」という志を掲げる、
ゴールドティーマイスター・遠藤麻衣子氏が
鳥取県米子で立ち上げたティー・ブランド
「ONDE（オンド）」のパッケージデザイン。
贈り物ではなく自分のための紅茶時間を提供するために、
既製包材にラベルのみという条件が出された中で
物語を読むパッケージを制作しました。

「商品について教えてくだい。」その回答は 4,000 文字の物語でした。

デザインのヒアリングを行った際に、商品についての質問しました。その回答は 4000 文字の原稿用紙でした。
そこには、紅茶ができるまでのプロセスはもちろん彼女の経験や出会った人物、そこから生まれた想いなど、この紅茶を取り巻く「物語」が綴られていました。
この紅茶のおいしさを伝えるのはシズル写真や訴求コピーでもない。そこで読み物のようなパッケージを制作しすることにしました。

“〜を愛する人のための紅茶” として様々な時間を共にする紅茶をシリーズで展開。
現在も「海を愛する人のための紅茶」や「バターを愛する人のための紅茶」など新商品も開発中。



ONDE（オンド）というネーミングは、紅茶で最も大切な「温度」と
つくり手の「温度」を意味するとともに、遠藤：ENDO のアナグラムになっている。

パッケージに掲載されたストーリーは「つづく」の文字で締め括られ、
QR コードから物語の続きが読める仕様に。その先には紅茶ごとの美味しい淹れ方を知ることができる。